

調査・研修等計画届出書

令和 5年 10月 2日

瀬戸市議会議長 様

議員名 池田 信子

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和5年10月12日から10月13日まで（2泊3日）	
調査先・研修名	第85回全国都市問題会議 テーマ「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」	
会場名（会場所在地）	八戸市公会堂・公会堂文化ホール 〒031-0075 青森県八戸市内丸一丁目1番1号（八戸市役所 隣） TEL: 0178-44-7171	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	アフターコロナ/ポストコロナの社会を構築する動きが本格化している、今・この時期だからこそ、都市自治体と文化芸術・スポーツの関係を取り上げ「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」について調査研究を進めたい。 一方、本市におけるスポーツ施設の老朽化、機能集約による複合化等の将来への明確な本市のビジョンを示していく等の課題もある。そこで、広い意味で「まちづくり」との視点の参考としていけるよう、文化芸術・スポーツの持つ魅力を、ソフト・ハード両面で都市自治体の文化芸術・スポーツ政策として学びたいと考え、全国都市問題会議に出席する。	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	長江秀幸・三宅 聡	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 5年 10月 23日

瀬戸市議会議長 様

議員名 池田 信子

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和5年10月12日から10月13日まで（2泊3日）
調査先・研修名	第85回全国都市問題会議 テーマ「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」
会場名（会場所在地）	八戸市公会堂・公会堂文化ホール 〒031-0075 青森県八戸市内丸一丁目1番1号（八戸市役所 隣） TEL: 0178-44-7171
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<p>アフターコロナ/ポストコロナの社会を構築する動きが本格化している、今・この時期だからこそ、都市自治体と文化芸術・スポーツの関係を取り上げ「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」について調査研究を進めたい。</p> <p>一方、本市におけるスポーツ施設の老朽化、機能集約による複合化等の将来への明確な本市のビジョンを示していく等の課題もある。そこで、広い意味で「まちづくり」との視点の参考としていけるよう、文化芸術・スポーツの持つ魅力を、ソフト・ハード両面で都市自治体の文化芸術・スポーツ政策として学びたいと考え、全国都市問題会議に出席する。</p>

調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等

令和2年、青森県八戸市で開催予定であった第82回全国都市問題会議は、コロナ禍により中止となっていた。令和5年、第85回として再び青森県八戸市で開催されることとなった。全国の市議会議員、首長、行政職員の代表、合わせて約1800名が一同に集う会議であった。

1日目の主報告では「八戸市の文化・スポーツによるまちづくり」と題して、熊谷雄一 青森県八戸市長、基調講演では「アートの役割って何だろう?」と題して、日比野克彦 東京芸術大学長、一般報告では「まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる」と題して、吉川由美 文化事業ディレクター、「標高差1500Mの地勢を生かしたスポーツ・ツーリズムの創出」と題して、花岡利夫 長野県東御市長、「まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用」と題して、鈴木秀樹 株式会社鹿島アントラーズFC取締役副社長、以上の内容で丸1日をかけて講演や報告が活発に行われた。

2日目は、小林真理 東京大学大学院人文社会系研究科教授のコーディネーター役に、「八戸の独自性が生み出してきたもの」として今川和佳子 合同会社 imajimu 代表取締役も参加。その他、松橋崇史 拓殖大学商学部教授、頼重秀一 静岡県沼津市長、山崎善也 京都府綾部市長、の5人によるパネルディスカッションが行われた。

八戸市を愛する優秀な方々が集結しての2日間であり、様々な角度から、青森県八戸市の文化政策に携わってきた人たちがいて、今の八戸市の魅力が育まれたのだ報告から学び感じることができた。

八戸市のシンボリックな施設である「八戸ポータルミュージアム はっち」(通称: はっち)は、「全国でも前例を見ない施設」と言われ、美術館でも、公民館ともまた違う、複合的な機能を持つ施設であり、建設前の当時は、そのことが地域住民に理解されなかった。

言葉では複雑性を説明するのは難しく、建物がオープンするまでの間、実践を通して市民に感じてもらおうと、施設(はっち)がオープンまでの3年間で30ものプレ事業を地道に行い、そのことを通して、市民のマンパワーが人を繋いだといえる。

「酔っ払いに愛を〜横丁オンリーユーシアター〜」もその一つで、今回、研修終了後、実際に鑑賞することができ、体の中から湧き上がる力に感動した。

全体を通して、「まちづくり」は「ひとづくり」であると再認識できる内容であった。

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

本市にある、瀬戸万博記念公園「愛・パーク」の直径30M巨大モニュメント「天水皿（てんすいざら）」の作者である日比野克彦氏の基調講演の中で、「生きる力であり、アートの役割は文化的処方箋で財源も削減できる。」との言葉が印象に残った。アートのもつ多様性が今後、益々クローズアップされていって欲しい。

さらに海外では人と人、人と社会を結ぶ文化リンクワーカーの育成、アートコミュニケーター等、先進的に文化的処方箋の研究が進められており、そのエビデンスも蓄積されている。社会的課題をリサーチしてハウスオブメモリ（認知症）美術館が福祉施設等、日本国内の先進事例に留まらず、世界に目を向けていくことも、今後さらに重要であるとの学びを得た。

熊谷雄一 青森県八戸市長の主報告の中でもあったが、文化の視点では、地域資源を活かす書店とネットワークをつくることとして、「本を読む人を増やす」「本を書く人を増やす」「本でまちを盛り上げる」の3つの方針を掲げ、本棚スポットも多くあり、宿泊したホテルのロビーにもお洒落に整えられた本棚があり、豊かな空間で時間を過ごす実体験もできた。

スポーツの視点では、地元関係機関と八戸スポーツコミッションを立ち上げ、その活動を支援しており、プロチームにおいては、ホームゲームの開催はもとより、子どもたちや指導者の育成プログラムの実施等、「する」「みる」「ささえる」スポーツの各シーンにおいて、市民による多様な関わり、楽しみや活躍、学びの場を提供している点が大変に参考になった。

鈴木秀樹 株式会社鹿島アントラーズFC取締役副社長の報告の中で、ホームタウンの5市の行政職員が一人ずつ1年交代でクラブに出向（派遣研修）している点、そして、プロスポーツクラブによる地域の社会的課題解決、まちづくりの推進に取り組んでいる点、とても参考になった。

「プロスポーツクラブを有効に使い切る」という表現についても、今回の報告の中でヒントをもらった。人材育成、社会的課題の解決を本市に活かしていきたい。

山崎善也 京都府綾部市長の報告の中で、都市総合計画（2021年～2030年）に掲げ「市民一人1文化・1スポーツの推進」を通して、文化かおる「まちづくり」、「ふるさと教育」の実現をめざしている点に注目したい。

コロナ禍もようやく収束が見えてきた今、不要不急とまでいわれた文化芸術やスポーツの意義に改めて気づき、とりわけコロナ禍の閉塞感や人との関係性が否定された状況において、文化芸術のもつ潤いや癒しが、いかに「大切である」ことに気づいた。

行政に関わるものは、文化芸術やスポーツの意義を住民に伝えるとともに、ソフト・ハード両面の環境整備に努めることが肝要であり、文化芸術やスポーツをまちづくりに活かすことが、ふるさと教育に貢献し、地域アイデンティティの確立が図られると確信する。「近き者悦ばば遠きもの来る。」孔子の言葉を引用し、地方創生の核心を突いていた。

住民が自信を持って自分たちのまちの素晴らしさを語ることから地方創生は始まり、文化芸術やスポーツの魅力や価値を最大限活用することは、それを実現する「鍵」となる。その点、市長自ら、市民合唱祭にも参加している等、実践的な行動と言葉に説得力があった。

頼重秀一 静岡県沼津市長の「スポーツを活用したまちづくり」では、フェンシングに注目し、「フェンシングのまちづくり」を確立している点、また、アニメ「ラブライブ！サンシャイン」を活かしたまちづくりで、聖地巡礼は市内各地に広がり、民間の取り組みとしても、バス・タクシーのラッピング、特産品などで回遊性高めることに成功している。さらに、サイクリストフレンドリーエリア、プロスポーツが楽しめるまちを実現している等、参考になった。

今川和佳子 合同会社 imajimu 代表取締役の実践的な話は、特に興味深かった。八戸市はここ10年+αの間に「八戸ブックセンター」「八戸まちなか広場マチニワ」「八戸美術館」「八戸ポータルミュージアム はっち」等、公共施設が徒歩圏内に続々と整備されている。

特に注目したのは、「美術館」と「はっち」である。

実際の現地視察を通して、特に「はっち」では、「複合的な機能」という点においても、「貸館事業」「自主事業」「会所場づくり」の3つのソフト事業軸を持つ点、全てにおいて、理想的な環境整備であった。

また、「美術館」では、多様性、コミュニティの形成、交流拠点を融合した「ジャイアントルーム」があり、視察した当日も、大きな展示室には、地元高校生の文化祭記念の書画の展示がのびのび飾られていた。

特にロビーにある「ジャイアントルーム」は、開放的で心地よく、大きなフリースペースに多くの方々が自由に過ごしているところが、新しい美術館のあり方を想像できた。

調査・研修の成果・考察
(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

今回の全国都市問題会議を通して、瀬戸市においても、文化芸術・スポーツで都市の魅力を活かし、発展した「まちづくり」ができるよう、特に5つの視点を提案する。

1、「まちづくり」は「ひとづくり」のための人材育成（人材交流）の推進
プロスポーツクラブ等の「まちづくり」「人材育成（人材交流）」の推進事例を参考にした、「ひとづくり」のための環境整備や制度設計を提案する。

2、複合型多機能施設によるまちのリノベーションの推進
「はっち」「美術館」「ブックセンター」「マチナカ」のような複合型多機能施設によるまちのリノベーションを本市の公共施設マネジメントに反映していきたい。

3、市民一人、「1文化・1スポーツの推進」と「ふるさと教育」の推進
身近な小さな取り組み、持続的な取り組みこそ重要である。市民一人、1文化・1スポーツの推進を通して、ふるさと教育の推進を提案する。

4、文化芸術基本法・スポーツ基本法を基にした、瀬戸市総合計画への反映
文化芸術基本法では、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業など他分野の施策との有機的な連携を図ることを理念としている。

また同様にスポーツ基本法でも分野横断的な取り組みを進めることが条文で規定されている。現状と課題を検証し、第7次瀬戸市総合計画に明確に示していけるよう提案する。

5、文化芸術・スポーツの持つ魅力を最大限に発揮できるソフト・ハード両面の整備

本市のまちづくりに活かしていけるよう、本市の地域資源とは何かを見つめ直す機会となった。文化芸術・スポーツが文化的処方になるよう、社会的課題の解決に繋げるための、ソフト・ハード両面の整備を提案する。

むすびに、文化芸術、地域資源として位置付けていいのかは別のところでの議論になるのかもしれないが、藤井聡太8冠の前代未聞の大偉業を、良識をもって、瀬戸市の魅力と発展に繋げていけるよう期待したい。

以上、報告とする。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.iorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 10 月 11 日	瀬戸市役所前	名鉄	片道	大曾根	14.8	km	410	円	円
	大曾根	JR	片道	名古屋	9.8	km	12,540	円	円
	名古屋	新幹線	片道	東京	366	km		円	4,920 円
	東京	新幹線	片道	八戸	631.9	km		円	6,800 円
	八戸駅前	バス	片道	廿三日町	5.7	km	320	円	円
宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
ホテルグローバルビュー八戸				0178-46-3111		11,550 円			
備考欄									

36,540 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 10 月 12 日	十三日町	バス	片道	市庁前	0.4	km	170	円	円
	市庁前	バス	片道	十六日町	0.4	km	170	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
ホテルグローバルビュー八戸				0178-46-3111		11,550 円			
備考欄									

小計 11,890 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 10 月 13 日	十三日町	バス	片道	市庁前	0.4	km	170	円	円
	本八戸	JR	片道	八戸	5.5	km	12,870	円	6,800 円
	八戸	新幹線	片道	東京	631.9	km		円	5,120 円
	東京	新幹線	片道	名古屋	366	km		円	円
	名古屋	JR	片道	大曾根	9.8	km		円	円
	大曾根	名鉄	片道	瀬戸市役所前	14.8	km	410	円	円
備考欄									

バック等による割引など

小計 25,370 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

23,100 円

50,700 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

73,800 円